

障害者の自立支援と雇用創出を目的に農業に参入。荒廃農地の再生による耕作面積の拡大と労働力確保による新作物の栽培等を実現。新商品を開発し、地域イベントへ出店・販売することで生産や販売意欲が向上。

基本情報

- 所在地：岐阜県岐阜市
- 団体名：株式会社LSふぁーむ
- 選定表彰：－
- 主力商品：葉物野菜（サンチュ、ベビーリーフ等）、ヌマダイコン、米、玄米加工品
- 取得認証等：総合化事業計画認定、JGAP取得



主力商品のベビーリーフ



農福の圃場で栽培した野菜を使用した餃子

取組の概要

- 機械設計業、人材育成業を営む企業の農業部門として農業参入。グループ内の就労継続支援A型事業所に農作業を委託。
- 農業や6次産業化製品の製造などの各作業ごとに障害者の中からリーダーを任命、商品開発にも障害者が従事。
- 障害者が働きやすいように、柱やパイプの無いエアドーム式ハウスを平成27年に開発。
- 労働力を確保できたことにより、荒廃農地で葉物野菜、絶滅危惧種の「ヌマダイコン」や特別栽培米の栽培を実現。
- 地域の特別支援学校と農業体験できる機会を設けて農業振興を発信し、農業を通じて地域交流を行う。



ハウスでの作業風景

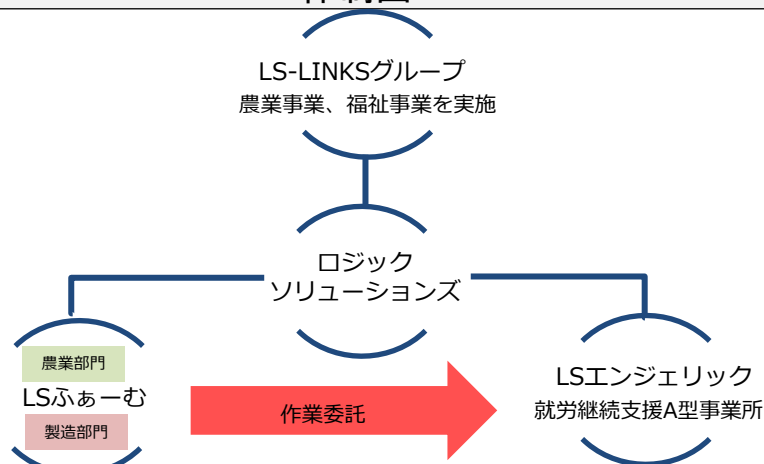


絶滅危惧種のヌマダイコン（ハーブ）



障害者が加工施設で製造した玄米だんご

体制図



取組の成果

- 平均賃金月額は平成23年の約6万7千円から令和5年の約8万円へ増加。
- 農地面積は平成23年の20haから令和5年の42haと2倍以上に増加。
- 農業や販売に携わる中で地域住民と交流する機会が増え、生産や販売意欲の向上につながり、これまでにグループ内の就労継続支援A型事業所から6名が一般就労に移行。
- 取組の輪が広がり、隣県の障害者が生産した農産物とコラボした商品を開発。

所在地 ▶ 岐阜県岐阜市藪田南1-11-9

連絡先 ▶ TEL:058-213-0711 E-mail:ogawa@ls-farm.com

ウェブサイト ▶ <http://www.ls-farm.com/>

【取組のプロセス】

平成22年

(株)ロジックソリューションズの農業部門として設立
平成22年に法人格を取得

きっかけ

障害者のための自立支援と雇用創出の場として、また労働力不足の解決策としてスタート。

農業生産及び6次産業化における農福連携を開始

- 個人のスキルや個性に適した仕事を与え、作業毎にリーダーを任命することで仕事に対する責任感とやりがいが増える。
- 製造方法を記載した手順書の作成や、一目でわかるように資材置き場にガイドをつけることで、誰でも作業を行うことができるように工夫。
- 平成25年6次産業化推進整備事業を活用し、農産物加工施設を整備。玄米だんごの増産設備が整い、障害者と連携して製造開始。



6次産業化推進整備事業で整備した加工施設

平成24年

6次産業化推進整備事業（農林水産省）の活用

エアドーム式農業ハウスの開発

- 平成27年に「エアドーム組立式技術特許」を取得。エアで膨らませるハウスであり、柱やパイプが存在しないため、怪我のリスクを軽減。
- 夏場のハウス作業は冷風扇やミストを設置し、熱中症対策を講じている。



エアドーム式農業ハウス

令和元年

絶滅危惧種ヌマダイコンの栽培スタート

農福推進事業の活用

- 絶滅危惧種である「ヌマダイコン」を守るため、栽培保護・栽培技術を確認。また、岐阜県の令和4年度農福連携推進活動緊急対策事業において、ヌマダイコンを加工するための機械類を導入し、新商品を開発。



障害者と一緒に販売会を行ったときの様子

令和4年

農福連携推進活動緊急対策事業（岐阜県）の活用

ハツシモの特別栽培開始

全ての人が分け隔てなく働き、持続可能な社会へ貢献する

- 地域の祭りやイベントに積極的に参加することで、障害をもった人に対する理解を地域に広める。
- 地域の農地保護のために契約農地の拡大を行い、同時に障害者の雇用を拡大する。
- ノウフクJASやぎふ清流GAPの取得による販路拡大に取り組み、障害者の賃金向上につなげる。



食育活動

今後の展望